

Course number	U-LAS06 20001 LJ41				
Course title (and course title in English)	労働と法 Law of Employment and Labor Relations		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, OBATA FUMIKO	
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)	Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・Second semester
Days and periods	Wed.3	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

15回の授業の中で、将来、企業や研究所、役所、学校等に雇用されて働く人や、起業して人を雇用する立場になる人に向けて、職場で遭遇する可能性のある問題に対する法的解決のあり方をお伝えしたいと考えています。

具体的には、給料や欠勤、残業、内定、昇進、転勤、解雇、年次有給休暇、フレックスタイム、労災、発明者の権利、男女平等、育児・介護休暇、パートタイマー、派遣労働者、ストライキ、団結権などを取り上げます。

[Course objectives]

将来、企業や研究所、役所、学校等に雇用されて働く際や、起業して人を雇用する際に、職場で遭遇する問題を法的に解決する方法を習得します。

[Course schedule and contents]

以下の順序で進める予定です。

- イントロダクション
- 労働契約関係の成立
- 労働契約上の権利義務
- 労働条件の決定
- 人事
- 賃金
- 労働時間・休暇・休業
- 男女平等
- 安全衛生・労災補償
- 非典型雇用
- 労働契約の終了
- 労働組合・不当労働行為
- 団体交渉・労働協約・団体行動

コロナウイルス感染状況に鑑み、オンライン授業とします。zoomによる質疑応答、音声付きパワポによる基本的な事項の解説、授業時間内に行う小テストを組み合わせる予定です。毎週の内容の詳細についてはクラスまたはPandAで予告します。

Continue to 労働と法(2)

労働と法(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

原則として毎週課題を出します。その解答をPandAで提出していただきます。また何回かに1回、授業時間内に小テストを行い、解答をPandAで提出していただきます。各課題とテストの点数の合計に基づき、国際高等教育院のガイドラインに従って素点評価をします。

[Textbooks]

小畑史子 『よくわかる労働法(第三版)』(ミネルヴァ書房)
小畑史子・緒方桂子・竹内(奥野)寿 『労働法(第三版)』(有斐閣)
労働法関係の法律の条文が掲載されている六法等の資料も用意してください。

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

いったん理解したつもりでも、表面的な理解にとどまっていると、後から応用ができませんので、授業で学んだことを復習し、深く理解する習慣をつけて下さい。

[Other information (office hours, etc.)]

質問には、授業の前後にもお答えしますし、時間がなければ日時を決めてあらためてお答えすることもできます。

火曜12時40分～

[Essential courses]